

# 川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.3 2010 春号



撮影：がんセンター/ 岡崎 博司

- 呼吸器外科のご紹介
- 第6回 Cancer Seminarレポート
- エビデンス・レポート
- 緩和ケアフォーラムin岡山

## インフォメーション

- がんセンター活動予定
- オープンカンファレンス



● 呼吸器外科のご紹介

呼吸器外科 部長 中田 昌男

2010年4月から川崎医科大学に呼吸器外科学教室が新設されました。これまでも胸部心臓血管外科の一分野として診療してまいりましたが、新診療科として独立するにあたり気持ちも新たに診療・教育・研究に一層の努力をしていきたいと考えています。

現在の教室員は私を含め6名です。医長以上の3名が呼吸器外科専門医の資格を持ち豊富な手術経験を



持っています。おかげさまで手術件数は毎年増加し、2008年には肺悪性腫瘍手術が80例を超えました。手術以外でも、術前後の化学療法、気管支ステント術などを、がん薬物療法、気管支鏡の専門医が担当して診療にあたります。

われわれのモットーは、「がんを上手になおす」ことにあります。ただ「がんが治ればよい」ではなく、如何にして治療中あるいは治療後の生活が安心して穏やかに過ごせるかを常に考え治療を行っています。そのために肺がん手術の約6割を侵襲の少ない胸腔鏡手術で行います。肺がん手術患者の4割が75歳以上という患者の高齢化の中で手術関連死は0.26%と全国平均(0.8%)よりはるかに低い数字であることも、麻酔科をはじめとする多くの診療科ならびに地域の先生方との密接な連携があってこそと感謝しております。

今後も肺がん治療を通して、より一層地域医療に貢献したいと考えております。どうぞ新しい呼吸器外科を宜しくお願い申し上げます。

● 第6回 Cancer Seminarレポート

テーマ「がん分子標的治療の理論と実際 -免疫療法を含む」

「大腸がん」

川崎医科大学附属病院  
消化器外科 副部長 山下 和城

消化器分野では大腸癌で初めて分子標的剤の効果が確認された。まず、はじめに確認されたのが血管新生阻害をその作用機序とするBevacizumab(Bev)である。BevはFOLFOX, FOLFIRIなどと併用すると、それぞれ単独投与と比較して無増悪期間が数ヶ月延長することが確かめられた。次に効果が確認された分子標的剤は腫瘍細胞増殖抑制を作用機序とするCetuximab(Cet)である。Cetは単独投与またはCPT-11を含むレジメンなどとの併用でその効果が得られる。分子標的剤にはそれぞれ特有の有害事象があり、Bevは高血圧、消化管穿孔、出血・梗塞が注意すべきもので、Cetはinfusion reactionと皮膚症状などである。CetはK-Rasのwild typeにのみ効果が認められる。それぞれの特徴を知って投与することが望まれる。

中国・台湾広域がんプロ養成プログラム インタナショナル生涯教育コース  
川崎医科大学附属病院がんセンター 第6回 Cancer Seminar 合同講演会

**受講無料**

テーマ  
**「がん分子標的治療の理論と実際 -免疫療法を含む」**

日時：平成22年1月16日(日) 13:30~16:00  
場所：川崎医科大学校舎棟 7階 M-702教室 岡山県教育委員会第77  
1階廊下(川崎医科大学附属病院がんセンター)から入場いただけます。受付は校舎棟1階廊下にて13:00まで実施します。最寄り駅は川崎駅より徒歩10分、バスも便利です。

**プログラム**

司会： 岡 三喜男 (川崎医科大学 内科学(呼吸器) 教授)

講演 1「総論と肺がん -がん研究の心」  
岡 三喜男 (川崎医科大学 内科学(呼吸器) 教授)

講演 2「大腸がん」  
山下 和城 (川崎医科大学 内科学(消化器) 准教授)

講演 3「乳がん」  
花井 淳一 (川崎医科大学 内科学(乳癌) 准教授)

講演 4「がん免疫を分子標的とした免疫療法の現状」  
山口 信之 (川崎医科大学 医学部助産学 教授)

特別講演「分子標的薬によるがん薬物療法の現状 -State of the art and update」  
佐々木 康雄 先生 (埼玉医科大学附属がんセンター 臨床腫瘍科 准教授)

対象は医師・看護師・薬剤師・コメディカルの方です。参加費無料ですがPCやiPadで下記まで連絡をお願いします。 中継で視聴の方は、第一発見者様(医師)様のご予約が必要です。 医師の登録はこちらのページをご覧ください。

●お問合せ・申込み  
〒201-0102 岡山県倉敷市北島5-7  
川崎医科大学附属病院 がんセンター 研修部  
Tel: 085-462-1111(内線8230)  
Fax: 085-464-1166

川崎医科大学 学術普及課  
Tel: 085-462-1111(内線3110)  
e-mail: gansu@med.kawasaki.ac.jp

●大学改革推進特別委員会  
「がん分子標的治療の理論と実際」  
プログラム 中国・台湾広域がんプロ養成プログラム  
研修生 川崎医科大学 附属病院がんセンター  
研修生 川崎医科大学 附属病院がんセンター  
研修生 川崎医科大学 附属病院がんセンター  
研修生 川崎医科大学 附属病院がんセンター

## 「乳がん」

川崎医科大学附属病院 乳腺甲状腺外科 副部長 紅林 淳一

遺伝子発現プロファイル解析により、乳癌は5つサブタイプ(intrinsic subtype)に分類できる。その中の1つHER2サブタイプ乳癌では、抗HER2療法(ヒト化モノクローナル抗体トラスツマブ、チロシン燐酸化阻害薬ラパチニブ)の有用性が検証されており、薬物治療の主軸を担っている。Luminal Bサブタイプの乳癌では、HER2シグナル伝達の亢進とともにホルモン感受性もみられ、ホルモン療法と抗HER2療法の併用効果が期待できる。また、basal-likeサブタイプの乳癌では、ホルモン療法、抗HER2療法がともに無効であり、新規分子標的薬(Src阻害薬、PARP-1阻害薬など)の開発が進められている。

## 「がん抗原を分子標的とした免疫療法の現状」

川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科 部長 山口 佳之

近年、がんに対する抗体治療やチロシンキナーゼ阻害剤など、分子標的治療の発展は著しい。がん抗原を分子標的とした免疫療法は、最も古くから開発された分子標的治療でありながら、最も開発が遅れている分子標的治療である。1991年、がん抗原が同定されたことによって、がん抗原を分子標的とした新規治療開発がにわかに活発化している。がんワクチンは東京大学医科学研究所を中心に他施設共同で全国的な探索的研究が進んでいる。活性化自己リンパ球移入療法は、平成21年10月1日、川崎医科大学附属病院において本邦で13番目の先進医療として認定された。副作用の少ない患者に優しい第四の治療として確立される日も遠くなくろう。

## ● エビデンス・レポート

消化器外科 部長 平井 敏弘

### 胃癌の治療にも分子標的治療薬の時代が来る

—HER2陽性進行再発胃癌に対する1st-lineとしてのトラスツマブ(商品名:ハーセプチン)+化学療法のランダム化第II相試験(ToGA試験)—  
トラスツマブ(商品名:ハーセプチン)は、HER2陽性進行再発胃癌、胃・食道接合部癌に対するフッ化ピリミジン系薬剤とシスプラチン併用レジメンへの上乗せ効果を検討した第III相試験(ToGA試験:国際共同試験)において、化学療法群に比較して有意に生存期間を延長することが示された(生存中央値:13.8ヶ月 vs 11.1ヶ月)。また、HER2高発現例においてはより高い延命効果が示された(生存中央値:16.0ヶ月 vs 11.8ヶ月)(Van Cutsem E et al. ASCO 2009: abstract #LBA450)。これを受けて、わが国でもハーセプチンの胃癌への適応が認められるようとしている。しかし、HER2陽性の決定や有害事象のチェックなど、一般臨床としてのハーセプチンの使用には問題も多いことを認識する必要がある。

## ● 緩和ケアフォーラムin岡山

岡山南西地区およびその周辺地区における緩和ケアの強化・充実、在宅ケアの活性化に向けた情報交換、切れ目のない連携バスの完成と実践を目的とした研究会です。年4回の勉強会・講演会を開催、メーリングリストでの情報交換を行っております。研究会に参加ご希望の際は下記までご連絡をお願いいたします。

### 緩和ケアフォーラムin岡山

**代表世話人** 川崎医科大学附属病院  
消化器外科部長 平井 敏弘

**事務局** 川崎医科大学 臨床腫瘍学教室  
kasco@med.kawasaki-m.ac.jp  
メーリングリストご加入の際は上記にメールをお願いします。

## がんセンター活動予定

### ◎ 第7回 Cancer Seminar (医療者向け)

テーマ「地域連携」

日時：平成22年6月26日(土) 13:30～16:00

場所：川崎医科大学 現代医学教育博物館 2階大講堂

講演1. 「PEGを含めた栄養地域連携に対する津山中央病院の取り組み」

津山中央病院 内科部長 平良 明彦 先生

講演2. 「中山間地域の地域包括ケアと在宅緩和ケア」

高梁市川上診療所 所長 菅原 英次 先生

講演3. 「在宅緩和ケアにおける診診連携の実際と病診連携について」

守屋おさむクリニック 院長 守屋 修 先生

講演4. 「岡山県におけるがん診療地域連携パスの動向」

川崎医科大学 呼吸器外科 教授 中田 昌男 先生

### ◎ 第7回 市民公開講座

日時：平成22年10月2日(土) 13:30～16:00

場所：川崎医科大学 8階ラウンジ

## ● オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

### 呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学)合同で「呼吸器X線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00～19:00 場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

### 大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護師・薬剤師など多職種からなる医療チームで、外来大腸癌性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコル・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆さまもどうぞご参加ください。

日時 第1・3月曜日 17:30～19:00 場所 本館10階 通院治療センター

### Nutrition Support Team(NST)カンファレンス

毎週火曜日12:45から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

TEL 086-462-1111(代表)

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室

TEL (086) 462-1111 (内線22611)

FAX (086) 464-1166

E-mail renkel@med.kawasaki-m.ac.jp